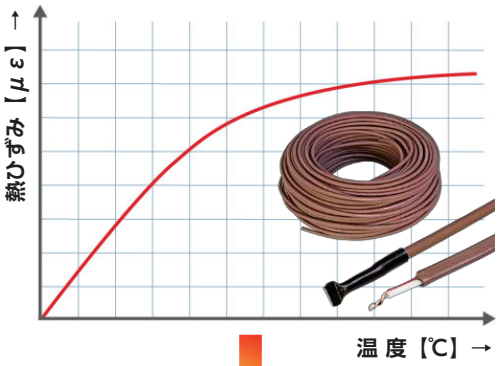
電池関連計測事例

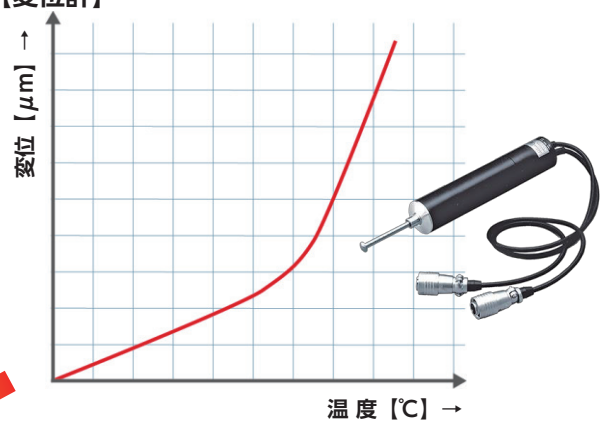
本システムは蓄電池（リチウムイオン電池）や装置への固定部材が**熱膨張によって変形が生じる現象を測定**しています。ケースのひずみや固定ボルト（ネジ）軸力とバッテリケースの温度も**高速サンプリングでモニタ・グラフ表示してリアルタイム計測することが可能**です。

【使用機器例】	熱電対	変位計	ひずみゲージ	軸力ボルト
	T型・K型	CDP(5mm～100mm) CDP-M(5mm～100mm)	一般用・高温用	ボルトを加工して ひずみゲージを埋込 または貼付したもの （荷重校正可能）

【熱電対】



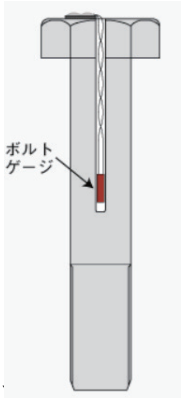
【変位計】



T-ZACCS 9
TS-963

【ひずみゲージ】

【軸力ボルト】
全ネジ六角ボルトの頭部首下をねじ固定し、ゲージ埋込部を空洞にする。リチウムイオン電池が膨張すれば、ボルト圧縮軸力が測定可能。



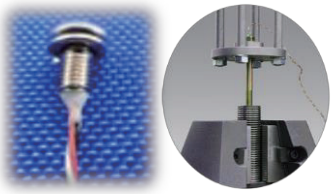
Point

- ☑ M3ボルトへのひずみゲージ埋込・校正（温度特性試験データ）
- ☑ 測温機能付きひずみゲージ対応
  主ひずみ、主応力、温度補償データがリアルタイム表示
- ☑ 軸力ボルトをリアルタイムで温度補正処理しながら計測可能

荷重校正試験成績書、温度特性試験データをご提供できます。

また、新開発の加工穴径φ0.8mmの埋込型ひずみゲージにより、

M3サイズへの対応が可能



TML
株式会社　東京測器研究所
E-mail : info@tml.jp　営業所・工場案内：https://tml.jp/company/info.html